



(部分)



(部分)



修復前 before restoration



修復後 after restoration

狩野元信筆「鄧林宗棟像」

Portrait of Torin Soto By Kano Motonobu

絹本著色

縦 104.5 cm 横 55.5 cm

室町時代 1521年

龍安寺 京都

Hanging Scroll, Color on silk

104.5 cm × 55.5 cm

Muromachi period, dated 1521

Ryoan-ji Temple, Kyoto

本作品は、図上の自賛によると、鄧林の弟子達が永正18年(1521)狩野派の大成者・狩野元信(1477～1559)に描かせ、鄧林に賛を求めたものである。作者・制作年代の判る頂相の名品として高く評価されているもので、特に元信自筆の確たる裏付けが得られる頂相の遺品は他にない。

像主の鄧林宗棟は山名宗全の子で幼くして細川勝元の養子に迎えられたが、のちに出家して特芳禅傑の法嗣となった。永正4年(1507)には妙心寺において奉勅入寺の先例を開くなど、大徳寺からの独立に大いに貢献したことが知られる。

修復は画面全体の無数の横折れや亀裂に対し行われた。